

血液を使う研究の話

薬の開発や病気の原因を調べるための研究



1. はじめに

これから、あなたの体の状態を調べるために、血液を採取して検査をします。

検査で血液を使ったあと、残った血液から いろいろな「成分」や「遺伝子」というものを調べる研究をしてもよいか考えて 欲しいので、血液を使った研究について説明します。

わからない事や心配なことがあれば、何でも聞いてください。



2. どんな研究をするのか？

血液の中には、体を作る成分である「タンパク質」や「細胞」や「遺伝子」などが入っています。

遺伝子は、あなたの体をつくる設計図のようなもので、体の一つ一つを、決まった形で、決まった働きをするように作るよう命令するものです。

様々な人の血液の成分や細胞や遺伝子などを調べることは、病気がなぜ起こるのかという仕組みや、治療法の開発の研究に役立ちます。わたしたち成育バイオバンクは、このような研究を行う研究者を支援する仕事をしています。

3. どうやって血液は利用されるか？

あなたの体の状態を調べるための検査で採取した血液は、残ったら再確認のためにしばらく保管しておきます。再確認の必要が無くなったら、あなたの残りの血液は捨て

てしまうこととなりますが、もしあなたが研究に使ってもいいと思ったら、捨てずに、わたしたち成育バイオバンクが保存します。

そして研究者が血液を利用して研究をしたいと申し出たときに、わたしたちは血液と、場合によってカルテの内容の一部を研究者に提供します。研究者は様々な方法で、血液から成分や細胞や遺伝子などを取り出して、詳細に調べます。あなたのこれまでの病気のことが書かれた遺伝子を調べることもあるかもしれません。

4. 残った血液を提供し、研究に利用されることによる不利益

検査のために血液を採取する際に、少し痛いかもしれませんが、それ以外に痛い思いをすることはありません。

説明を聞いたあとに、血液を保存して研究に利用してもいいという、あなたの考えを確認する「意思確認書」に、お名前を書くための時間がかかります。

5. プライバシーの保護について

研究で血液を調べた結果は、様々な問題を引き起こす可能性があるため、他の人に漏れないように、取扱いを慎重に行う必要があります。あなたの血液とカルテ内容の一部は、個人情報情報を削り、番号だけをつけて、提供されます。あなたと番号を結びつける対応表は、わたしたち成育バイオバンクだけにあり、他の研究者に渡されることはありません。このようにすることによって、あなたの血液を調べた結果やカルテ内容の一部は、研究者にも、だれのものであるか分からなくなります。

6. 血液の保存と研究利用

残った血液を保存しておいて、研究に利用してもいいかどうかは、あなた自身で考えて決めてください。

ご家族と相談して、血液の保存・研究への利用をやめることもできます。

7. 問い合わせ先

この説明でわからないこと、心配なことがありましたら、いつでも相談してください。

血液の保存を途中でやめることもできます。

病院の名前	国立成育医療研究センター バイオバンク
責任者の名前	梅澤 明弘



意思確認書

血液を使う研究について説明を聞きました。

わたしは、血液を保存して、今後の研究に利用されることを承知しました。

意思決定日： 年 月 日

名前： _____

説明担当者

説明した日： 年 月 日

名前： _____